

聖マリア病院を過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会、研究倫理審査委員会にて承認されたものです。本研究代諾者（患者様のご遺族様）に該当される可能性のある方で、研究について詳細にお知りになりたい場合や診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、解析用のデータが確定（データ固定）している場合は、研究データからあなたの情報を削除できませんので、ご了承ください。

① 研究課題名	日本病理剖検輯報に基づく全身性アミロイドーシス各病型頻度の疫学調査		
② 実施予定期間	承認後 ～ 2024年3月31日		
③ 対象患者	2017年1月1日～2018年12月31日までに病理解剖が施行され、アミロイドーシスと報告された患者様		
④ 対象期間	2017年1月1日 ～ 2018年12月31日		
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院		
⑥ 対象診療科	病理診断科		
⑦ 研究責任者	氏名	檜垣 浩一	所属 病理診断科
⑧ 使用する資料等	研究に用いる試料・情報 ・日本病理剖検輯報に記載されている事項（患者年齢、性、臨床診断、病理解剖診断、主な治療） ・検体から同定したアミロイド蛋白質の種類 ※剖検の過程で得られた臓器の未染色標本を、この研究の代表機関である福井大学医学部に送ります		
⑨ 研究の概要	全国の病理施設で1年間に行われた剖検症例の診断をまとめた日本病理剖検輯報（日本病理学会編）を用いて、国内で1年間にアミロイドーシスと報告された症例を抽出することができます。 本研究では、2017年1月1日～2018年12月31日までにアミロイドーシスと報告された症例に関して、各施設にアンケート調査を実施すると共に、研究代表機関である福井大学にて追加の検査を行い、各病型を正確に決定し、日本の剖検例におけるアミロイドーシス各病型の疫学調査を行うことを目的としています。 得られたデータを基に、全身性アミロイドーシス各病型の日本における精確な発症頻度等を明らかにし、論文での発表を通して、日本における全身性アミロイドーシスの疫学的な実態を明らかにします。		
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑪ 結果の公表	学会や論文等で発表いたします		

⑫ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。試料・情報を送付する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。
⑬ 知的財産権	研究代表機関である福井大学に属します
⑭ 研究の資金源	研究代表機関である福井大学の厚生労働科学研究費補助金を利用して実施します。
⑮ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません。
⑯ データの2次利用	本研究で得られたデータ等の2次利用により新たな研究を行う場合は、改めて研究計画書を作成し、再度研究倫理審査委員会の審査を受けます。
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	聖マリア病院 病理診断科
	電話 0942-35-3322 (内線 6351)